

業績ハイライト

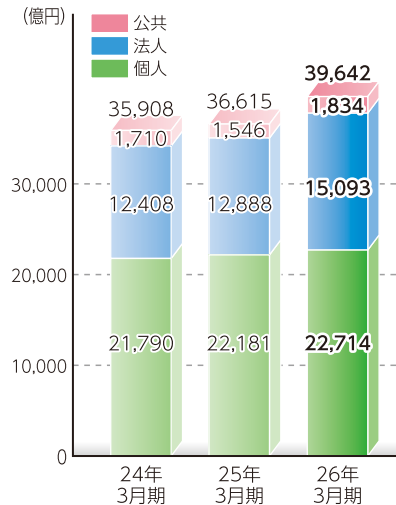
総預金・貸出金等の残高推移

総預金

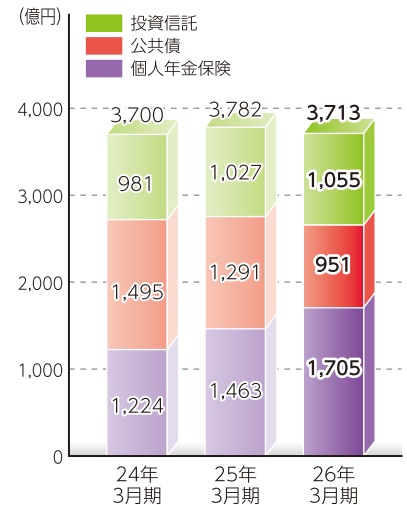
法人、個人及び公共預金の増加により、当期末の総預金残高は、前期末比3,026億93百万円増加して3兆9,642億88百万円となりました。

また、お客さまの資金運用ニーズの多様化にお応えするため、個人年金保険、公共債及び投資信託などの預金以外の運用性商品の品揃え充実につとめ、個人年金保険及び投資信託が増加しましたが、公共債の減少により、当期末の預り資産残高は、前期末比69億52百万円減少し、3,713億29百万円となりました。

総預金 (預金＋譲渡性預金)



預り資産

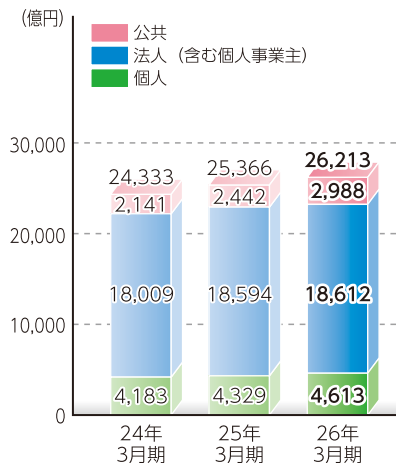


貸出金

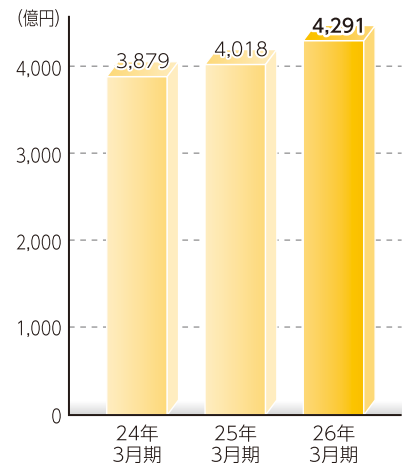
個人向け、法人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加したことにより、当期末の貸出金残高は、前期末比847億8百万円増加して2兆6,213億95百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当期末の住宅ローンの残高は、前期末比273億82百万円増加し、4,291億82百万円となりました。

貸出金



住宅ローン



業績の推移

コア業務純益は、経費の削減につとめましたが、金利低下に伴う資金利益の減少などにより、前期比22億10百万円減少して142億21百万円となりました。

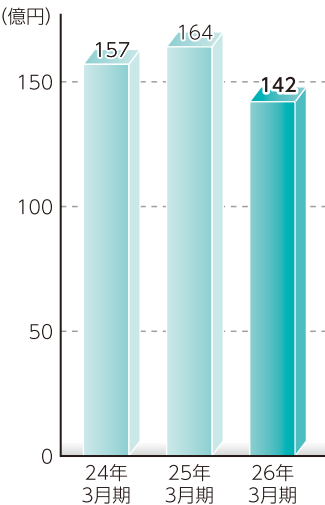
経常利益は、与信関係費用の減少及び有価証券関係損益の改善などにより、前期比112億26百万円増加して201億76百万円となりました。

また、当期純利益は、前期比55億68百万円増加して110億97百万円となりました。

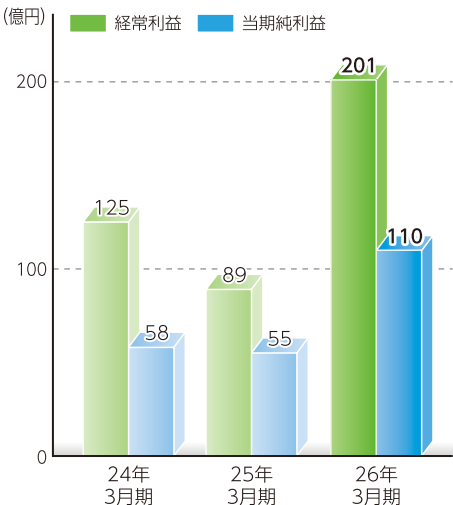
*コア業務純益とは

コア業務純益 = コア業務粗利益（資金利益+受取手数料など）－ 経費
銀行の本来業務からの利益を表す指標。

コア業務純益



経常利益・当期純利益



県内シェア

(平成26年3月31日現在)

